

2019年3月期 決算公告

2019年6月3日

東京都品川区東品川二丁目2番4号
株式会社T&M
代表取締役 堀田 守

貸借対照表

(2019年3月31日現在)

(単位:千円)

科 目	金 額	科 目	金 額
資 産 の 部		負 債 の 部	
流 動 資 産	402,860	流 動 負 債	1,135,807
現金及び預金	181	買掛金	12,903
売掛金	46,118	関係会社短期借入金	1,024,922
商 品	198,232	未払金	42,930
仕掛品	70,071	未払事業所税	230
前払費用	6,949	未払法人税等	70
未収金	81,055	未払費用	53,878
その他	252	賞与引当金	650
固 定 資 産	29,234	その他	223
有形固定資産	52	負 債 合 計	1,135,807
工具器具備品	52	純 資 産 の 部	
無 形 固 定 資 産	8,568	株 主 資 本	△ 703,712
ソフトウェア	7,688	資 本 金	10,000
商 標 権	879	利 益 剰 余 金	△ 713,712
投資その他の資産	20,613	その他利益剰余金	△ 713,712
繰延税金資産	18,942	繰越利益剰余金	△ 713,712
その他	1,671	(うち当期純損失)	(256,275)
資 産 合 計	432,095	純 資 産 合 計	△ 703,712
		負 債 純 資 産 合 計	432,095

(重要な会計方針に係る事項に関する注記)

1. 資産の評価基準及び評価方法

(1) たな卸資産の評価基準及び評価方法

- ① 商品 先入先出法による原価法(貸借対照表価額は収益性の低下に基づく簿価切下げの方法により算定)によっております。
- ② 仕掛品 個別法による原価法(貸借対照表価額は収益性の低下に基づく簿価切下げの方法により算定)によっております。

2. 固定資産の減価償却の方法

- (1) 有形固定資産 定率法
ただし、1998年4月1日以降に取得した建物(附属設備を除く)並びに2016年4月1日以降に取得した建物附属設備及び構築物については、定額法を採用しております。
- (2) 無形固定資産 定額法

3. 引当金の計上基準

- (1) 賞与引当金 使用人及び使用人としての職務を有する役員に対して支給する賞与に充てるため、支給予定見込額の事業年度負担分を計上しております。

4. その他計算書類作成のための重要な事項

- (1) 消費税等の会計処理 税抜方式によっております。
- (2) 連結納税制度の適用 連結納税制度を適用しております。

(株主資本等変動計算書に関する注記)

発行済株式の種類及び総数に関する事項

株式の種類	当事業年度期首 株式数【株】	当事業年度増加 株式数【株】	当事業年度減少 株式数【株】	当事業年度末 株式数【株】
発行済株式				
譲渡制限株式	200	—	—	200
合計	200	—	—	200

(その他の注記)

記載金額は、千円未満を切り捨てて表示しております。